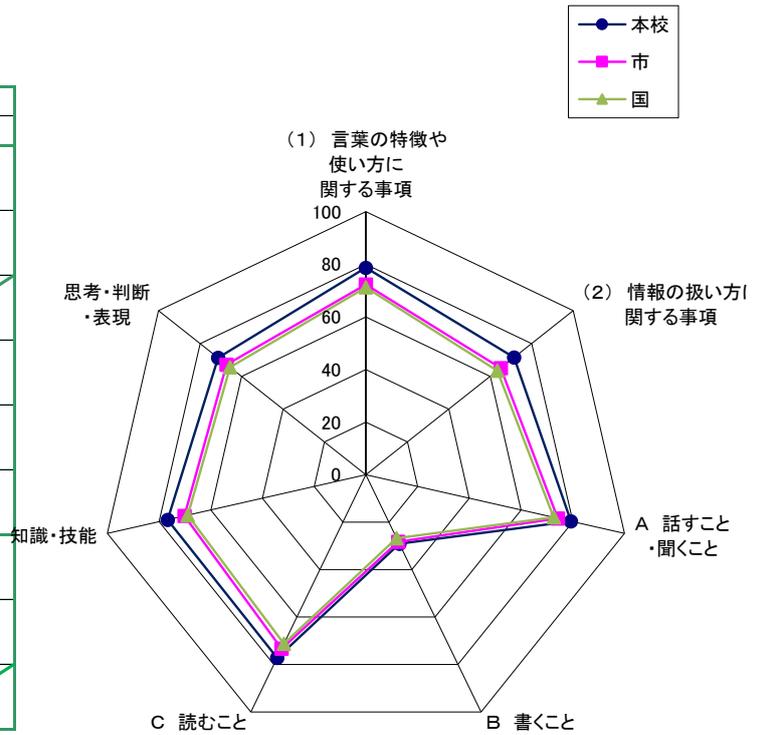


# 宇都宮市立横川中央小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	78.7	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	71.5	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	79.3	74.2	72.6
	B 書くこと	29.1	28.2	26.7
	C 読むこと	77.2	73.3	71.2
観点	知識・技能	76.7	70.2	68.9
	思考・判断・表現	71.3	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方に関する事項	○言語の特徴や使い方に関する事項では、本校の平均正答率は78.7%で、全国平均よりも7.5ポイント上回っており、全ての設問において、全国の平均を上回っている。 ○「漢字を使って書き直す」設問では、本校の正答率が83.5%で、全国平均よりも10.9ポイントも上回っている。	・漢字の学習においては、熟語や文章中での使い方に着目させ、適切に理解させるようにしたい。 ・普段の授業から国語辞書や漢字を活用し、言葉の意味や成り立ちを調べることの楽しさを味わわせるとともに、家庭学習でも進んで使うよう促すなどして、言葉への関心と語彙力を高める。
(2) 情報の扱い方に関する事項	○情報の扱い方に関する事項では、本校の平均正答率が71.5%で、全国の平均よりも8.1ポイント上回っている。	・文章から読み取った複数の情報や、複雑な情報を、比較・分類し、囲みや矢印などを使ったり、表を使ったりして、分かりやすくまとめる活動を充実させる。 ・原因と結果や、意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係に着目させ、「話す・聞く」「書く」「読む」の言語活動の中で活用できるよう指導していく。
A 話すこと・聞くこと	○話すこと・聞くことの本校の正答率は79.3%で、全国の平均よりも6.7ポイント上回っている。 ○「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」設問では、記述式の回答の正答率が79.7%で、全国の平均を9.5ポイント上回っている。	・話すことにおいては、誰に話すのか(相手意識)、何のために話すのか(目的意識)、何をどのように話すのか(方法意識)などの言語意識を明確にし、相手や場に応じて話せるように指導していきたい。 ・聞くことにおいては、メモを取りながら聞く活動を充実させ、話し手の意図や、伝えるための具体例などが正しく聞き取れるよう指導する。
B 書くこと	○書くことの本校の正答率は29.1%で、全国の平均よりも2.4ポイント上回っている。 ●「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」設問では、正答の条件を全て満たした解答率がほかの区分と比べると29.1%と低い。	・相手や目的を意識し、図表やグラフなどから分かる情報を比較・分類して書く内容の中心を明らかにするとともに、内容のまとまりごとに段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成が考えられるよう指導する。 ・字数や内容など、条件付きの短い文章を書いて友達と読み合う活動を、レクリエーションの一環として取り入れるなどして、書くことへの抵抗感が軽減できる活動を充実させる。
C 読むこと	○読むことの本校の正答率は77.2%で、全国の平均よりも6.0ポイント上回っている。 ○「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」設問では、記述式での正答率が64.6%で、全国の平均を8.4%上回った。	・説明的文章を読む際は、指導方法や手順を工夫して、自分の身近な経験と結び付けて考えられるようにし、教材への関心や学習することへの意欲を高められるようにする。 ・読み取った内容に対して自分の考えをもち、それらをまとめて表現する活動を充実させる。 ・読書や、音読・朗読の時間を日頃から設け、「読むこと」の楽しさが味わえるようにしたい。

